

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 11 月 11 日 (2021.11.11)

【公表番号】特表 2018-537268 (P2018-537268A)

【公表日】平成 30 年 12 月 20 日 (2018.12.20)

【年通号数】公開・登録公報 2018-049

【出願番号】特願 2018-517553 (P2018-517553)

【国際特許分類】

B 0 1 J 29/80 (2006.01)

B 0 1 D 53/94 (2006.01)

F 0 1 N 3/08 (2006.01)

F 0 1 N 3/10 (2006.01)

F 0 1 N 3/28 (2006.01)

F 0 1 N 3/035 (2006.01)

【 F I 】

B 0 1 J 29/80 Z A B A

B 0 1 D 53/94 2 2 2

F 0 1 N 3/08 A

F 0 1 N 3/10 A

F 0 1 N 3/28 3 0 1 C

F 0 1 N 3/08 B

F 0 1 N 3/28 3 0 1 Q

F 0 1 N 3/035 A

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 3 年 9 月 16 日 (2021.9.16)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ディーゼルエンジンからの排気ガスを処理するための NO_x 吸収体触媒であって、
モレキュラーシーブ触媒を含む第 1 の NO_x 吸収体材料であって、モレキュラーシーブ触媒が貴金属と小細孔モレキュラーシーブとを含み、小細孔モレキュラーシーブが貴金属を含有する、NO_x 吸収体材料；

セリウムの酸化物に担持されたパラジウム (Pd) を含む第 2 の NO_x 吸収体材料；及び

入口端と出口端とを有する基材
を含む NO_x 吸収体触媒。

【請求項 2】

貴金属がパラジウムを含む、請求項 1 に記載の NO_x 吸収体触媒。

【請求項 3】

小細孔モレキュラーシーブがアルミノシリケート骨格、アルミノホスフェート骨格又はシリコ-アルミノホスフェート骨格を有する、請求項 1 又は請求項 2 に記載の NO_x 吸収体触媒。

【請求項 4】

小細孔モレキュラーシーブが、ACO、AEI、AEN、AFN、AFT、AFX、A

NA、APC、APD、ATT、CDO、CHA、DDR、DFT、EAB、EDI、EPI、ERI、GIS、GOO、IHW、ITE、ITW、LEV、KFI、MER、MON、NSI、OWE、PAU、PHI、RHO、RTH、SAT、SAV、SIV、THO、TSC、UEI、UFI、VNI、YUG、ZON、及びこれらのいずれか2つ以上の混合物又は連晶からなる群より選択される骨格型を有する、請求項1から3のいずれか一項に記載のNO_x吸収体触媒。

【請求項5】

小細孔モレキュラーシーブがAEI又はCHAである骨格型を有する、請求項4に記載のNO_x吸収体触媒。

【請求項6】

小細孔モレキュラーシーブが、アルミノシリケート骨格を有し、10から200のシリカのアルミナに対するモル比を有する、請求項1から5のいずれか一項に記載のNO_x吸収体触媒。

【請求項7】

セリウムの酸化物がセリア(CeO₂)であるか、又はセリアと、アルミニウム及びジルコニアから選択される第2の酸化物との混合若しくは複合酸化物である、請求項1から6のいずれか一項に記載のNO_x吸収体触媒。

【請求項8】

セリウムの酸化物にドーバントがドーブされ、ドーバントが、タングステン(W)、ケイ素(Si)、チタン(Ti)、ランタン(La)、プラセオジム(Pr)、ハフニウム(Hf)、イットリウム(Y)、イッテルビウム(Yb)、サマリウム(Sm)、ネオジム(Nd)、及びこれらの2種以上の組み合わせからなる群より選択される元素又はその酸化物である、請求項1から7のいずれか一項に記載のNO_x吸収体触媒。

【請求項9】

パラジウム(Pd)の濃度が、セリウムの酸化物の濃度の2重量%以下である、請求項1から8のいずれか一項に記載のNO_x吸収体触媒。

【請求項10】

第1のNO_x吸収体材料と第2のNO_x吸収体材料との混合物を含む、請求項1から9のいずれか一項に記載のNO_x吸収体触媒。

【請求項11】

NO_x吸収体触媒が第1のゾーンと第2のゾーンとを含み、第1のゾーンが第1のNO_x吸収体材料を含み、第2のゾーンが第2のNO_x吸収体材料を含む、請求項1から9のいずれか一項に記載のNO_x吸収体触媒。

【請求項12】

第1のゾーンが第2のゾーンの^{上流}に配置されるか、又は第1のゾーンが第2のゾーンの^{下流}に配置される請求項11に記載のNO_x吸収体触媒。

【請求項13】

第1の領域と第2の領域とを含み、第1の領域が第1のNO_x吸収体材料を含み、第2の領域が第2のNO_x吸収体材料を含み、かつ、第1の領域が第2の領域と重なるか又は第2の領域が第1の領域と重なる、請求項1から9のいずれか一項に記載のNO_x吸収体触媒。

【請求項14】

第1の層と第2の層とを含み、第1の層が第1のNO_x吸収体材料を含み、第2の層が第2のNO_x吸収体材料を含み、かつ、第1の層が第2の層の上に配置されるか又は第2の層が第1の層の上に配置される、請求項1から9のいずれか一項に記載のNO_x吸収体触媒。

【請求項15】

ディーゼル酸化触媒(DOC)領域をさらに含む、請求項1から14のいずれか一項に記載のNO_x吸収体触媒。

【請求項16】

基材がフロースルーモノリス又はフィルターモノリスである、請求項 1 から 15 のいずれか一項に記載の NO_x 吸収体触媒。

【請求項 17】

請求項 1 から 16 のいずれか一項に記載の NO_x 吸収体触媒とエミッションコントロールデバイスとを備える排気システム。

【請求項 18】

エミッションコントロールデバイスが、ディーゼル微粒子フィルター (DPF)、リーン NO_x トラップ (LNT)、リーン NO_x 触媒 (LNC)、選択的触媒還元 (SCR) 触媒、ディーゼル酸化触媒 (DOC)、触媒化スートフィルター (CSF)、選択的触媒還元フィルター (SCRFTM) 触媒、アンモニアスリップ触媒 (ASC) 及びこれらの 2 種以上の組み合わせからなる群より選択されるエミッションコントロールデバイスからなる群より選択される、請求項 17 に記載の排気システム。

【請求項 19】

リーンバーンエンジンと、請求項 1 から 16 のいずれか一項に記載の NO_x 吸収体触媒又は請求項 17 又は 18 に記載の排気システムとを備える車両。

【請求項 20】

リーンバーンエンジンが、50 ppm の硫黄を含むディーゼル燃料で作動するように構成されている、請求項 19 に記載の車両。

【請求項 21】

リーンバーンエンジンからの排気ガスを処理する方法であって、排気ガスを請求項 1 から 16 のいずれか一項に記載の NO_x 吸収体触媒と接触させること、又は排気ガスを請求項 17 又は請求項 18 に記載の排気システムに通過させることを含む、方法。